

強度・防錆力に優れた JFE 機材フォーミングの鋼製床材 「ワイドネオ」について

High Strength, Anti Corrosive Zinc Coated Light Gauge Steel Floor Material “ACE GRATING WIDE NEO”

1. 鋼材で構成する床

建築物、工作物には用途によりコンクリート床板とは異なる軽量の床の設置を求められる部分がある。施設の管理・点検など、特定関係者のみが歩行する点検歩廊などがその代表例である。これら点検歩廊の床材には従来、縞鋼板、エキスパンドメタル、グレーチングといった材料が条件に応じて用いられているが、「ワイドネオ」はこれら従来型の材料に並ぶ選択肢の一つとして採用されている製品である。

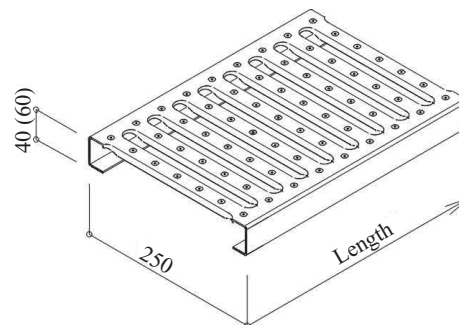


図1 「ワイドネオ」の形状
Fig.1 Shape of “WIDE NEO”

2. 「ワイドネオ」の形状・特長・用途

2.1 形状

「ワイドネオ」は薄鋼板のスリットコイルからパンチング→ロール成形→長さ切断の工程を経て製造する製品である。図1に示すように働き幅250mmで、長さは5990mmまでを基本としている。この細長い形状のワイドネオは敷き並べた全体として床面を形成する。同じ有孔タイプでもエキスパンドメタルやグレーチングなどが「面」の形状（たとえばタテ900×ヨコ1200mm）をした製品を割り付けて床面を形成するのは異なっている。

2.2 特長

ワイドネオは次にあげる特長を備えている。

- (1) 製品形状の点から人力で持ち運びがしやすい。
- (2) 下地の鉄骨に専用の金具で固定する施工方法を基本としており、敷き込み施工時に溶接作業を必要としない。そのため、後から部分的に取り外すことも可能である。
- (3) 金具の留め付け作業は当該床面の上から行うことができる。
- (4) 用途や求められる強度に応じて、製品の高さ（2種）・板厚（3種）の中から選択することが可能である。また、めっき処理により屋内・屋外のいずれでも使用可能である。

ワイドネオの断面性能を表1に示す。

2.3 用途

ワイドネオは前述の形状・特長から次のような用途に対して適用実績がある。

表1 ワイドネオの断面性能表
Table 1 Cross-sectional properties of WIDE NEO

Name	Thickness, <i>t</i> (mm)	Geometrical moment of inertia, <i>I</i> (cm ⁴)		Section modulus, <i>Z</i> (cm ³)	
		per single	per width 1 m	per single	per width 1 m
WIDE NEO Type H60 mm	2.0	20.80	83.20	6.71	26.84
	1.8	18.93	75.72	6.11	24.44
	1.6	17.02	68.08	5.48	21.92
WIDE NEO Type H40 mm	2.0	7.89	31.56	3.81	15.24
	1.8	7.20	28.80	3.46	13.84
	1.6	6.50	26.00	3.13	12.52

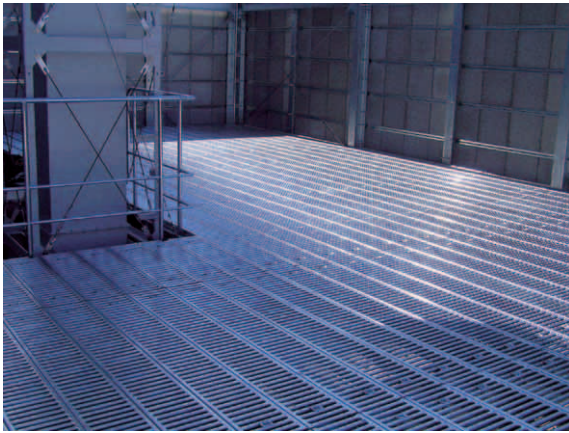


写真 1 「ワイドネオ」点検歩廊施工例

Photo 1 “WIDE NEO” application for maintenance floor

- ・ビル屋上の空調等設備機器廻りなどの点検歩廊
- ・研究施設などで天井内に収納されている設備の点検歩廊（写真 1）
- ・工場など天井走行クレーン脇の点検歩廊

このほかに有孔であることを生かして遮蔽性を必要としない目隠し壁，透かし壁などの壁材としても用いられるなど用途が広がりつつある。

〈問い合わせ先〉
JFE 機材フォーミング 本社営業部
TEL：047-387-0158